国労盛岡

発行所　国鉄労働組合 盛岡地方本部
発行者　齋藤庄司
編集者　中堤聡司
TEL 019-622-5021
メールアドレス nrumori@poem.ocn.ne.jp

2008.4.10
第1396号

拡大キャッチコピー

「新しい仲間づくりを皆の力で」

「一緒に解消しませんか、あなたの疑問。加入まってます」

新採対策会議

新採の国労加入に全力

＝職場での取り組み大切に＝

三月二三日、地方本部は「新採対策会議」を関係分会役員一六人の参加のもと国労会館四階で開催した。

会議は、重要課題である組織強化・拡大の問題で、JR東日本会社新規採用者の採用時の国労加入がこれまでに一人しか獲得できていない事実を重要視し、今年四月の採用予定が一七〇〇人であり、東労組が混乱している今が好機と捉え、JR東日本会社との全面一括和解以降の本格的な取り組みとして本社に対し、今まで職場で公然と行なわれていた、東労組加入に繋がるような便宜を、現場管理者が行なわないよう申し入れを行なったことを受けて、具体的な取り組みの意思統一を図るために開催された。

今を好機と捉え 一歩を大胆に進めよう

関係分会参加者も熱心に議論

会議は、座長には小林副委員長を選出し進められ、佐々木書記長が「地区オルグと五月の帯広・音威子府闘争団への激励行動に伴うカンパに協力を。国労は毎年六〇〇人という大量の退職者を出す時期をむかえている。国労運動という財産を残して行かなければならない。新採を含め組織拡大の年にしていきたい」と情勢報告。菊池組織部長から「今こそ『和解勧告書・確認書』を武器に正常かつ健全な労使関係を確立し安心して働ける職場を作らなければない。そのためにも、新採対策は緊急の課題。全機関・全組合員が組織拡大に向けた一歩を大胆に進めよう。具体的には、会社に一括和解の趣旨の周知徹底と法令順守、特定の労働組合加入の働きかけや便宜の解消、新規採用者に対する指導者に国労の指定も要請する。また、東海労（つぼ八事件）の掲示用ニュース、新採者歓迎ポスターを掲示、新規採用者の把握・情報収集に努め、新採歓迎会への機関役員の参加も考えよう。JR東日本の新採は四月下旬に現場配属が予想される、盛岡は去年七〇人が配属された。本年も同じような配属と考えられるので組織拡大の協議をお願いしたい」と提起した。

討論では、「歓迎会は東労組主催で国労の入る余地はない」「正常な労使関係が確立されていないが運輸区の講習室を借りて職場集会を行った」「新採との接点がない。ファザー・ブラザー制度は東労組組合員だけで行っている」「新採は東労組の子弟関係者が多い、調べる必要があるのでは」「就職一年の若い東労組組合員がブラザーになっている」「国労組合員の子弟で新採がいるか教えてほしい」「協力会社社員の組織拡大も必要」など八人から意見がだされた。

最後に佐々木書記長が「平成採用の国労加入者が、国労は優しすぎる。国労はこういう組合だと説明して加入を勧めるがそんな必要はない。先に加入させたほうが勝ちだと言っている。一括和解以降の新採加入の本格的取り組みで一人でも加入させることができれば大きな組織拡大に繋げることができる。職場では東労組が好き勝手にやりたい放題だ。それを若い人が勘違いしている、このままだと職場や安全が失われる。だからこそ私たち国労が組織拡大することが必要だ。地方本部・支部・分会の取り組む課題は違うが、新採が配属になる前に話し合いを行い何ができるか確認をしてほしい。同時に、昇格試験を積極的に受験してほしいし、一度も受験していない人を置き去りにしてはならない。新採に信頼されるよう受験資格のある人は受験してほしい。今日の会議で何かひとつでもできることを決めて取り組むことをお願いする」とまとめ会議を終わった。

当面の主な日程

▽4月12日（青森）4・9反核燃の日全国集会
▽4月16日 第8回地本執行闘争委員会
▽4月17日（東京）東日本本部業務部長会議
▽4月19日（青森）並行在来線・青い森鉄道の存続を考える青森県民集会
▽5月1日 第79回メーデー
▽5月13日～16日 帯広・音威子府闘争団激励交流（地本・支部）

訂正とお詫び

三月二六日付け国労盛岡速報版一面のリード最後、同行した福士青森支部書記長。は、「同行した福士青森支部副委員長。」が正当です。訂正しお詫びいたします。

北上市議会選挙

星敦子さん 21位当選

「三浦啓一さん3票届かず」

星 敦子さん

北上市議会議員選挙（定数三〇）が、三月一六日告示・同二三日投票で実施された。

同選挙には、二期目をめざして組織内候補として三浦啓一（無所属・社会民主党推薦）と星敦子（社会民主党公認）の両氏が立候補。選挙は、定数三〇名に対し立候補者が三一名という少数激戦の選挙となり、北上地区協を中心とする国労組合員はもとより、鉄道退職者の会、支援単産、地元の方々の大きな支援の中で選挙戦を展開した。

厳しい戦いの中、星敦子さんは一五〇五票を獲得し二一位当選。しかし、三浦啓一氏は、一二五七票を獲得したが当選に僅かに三票届かず、残念な結果となった。三浦さんは三月末に、星さんも四月はじめに地方本部を訪れ、組合員への感謝が伝えられた。

東日本本部家族会総会

積極的な参加で 会の盛り上げを

三月一六日、第一九回国労家族会東日本連合会総会が、東京・交通ビルで開催され、地本家族会からは曽我聖子（北上）、福岡文子（青森）さんと私の三人が代議員として、東日本連合会副会長を務める阿部むつ子（青森）さんと一緒に参加しました。

総会は、各地本家族会から役員及び代議員を含め四〇名の参加者が集い、総会議長に大貫静子さん（東京地本）を選出し議事が進められました。北沢江利子東日本連合会会長（新潟地本）の「限られた時間ではありますが、各地方の活動を報告してもらい、楽しい総会にしましょう」との挨拶の後、国労東日本本部を代表して伊藤秀樹委員長から、春闘情勢と採用差別問題の現状の報告と、「家族会の団結を強めて解決までの協力と家族会の更なる発展を祈念する」との挨拶を受けました。

総会には東日本エリア内から40名が参加

その後、経過と二〇〇七年度の活動方針案が提起され、予算案も含めて全体の拍手で承認され、「組織人数の減少により家族会活動に支障が出ている。限られた予算の中で活動していくことが必要。もっと各地本家族会の中での交流が必要」との確認をして総会を終りました。

第二部は、「格差と貧困」と題し、田上豊彦氏（月刊労働組合編集部員）を講師に学習会が開かれ、「今の日本は、庶民は増税、大企業は減税の社会となっている。生活者に優しくない社会である。国鉄闘争の経験を活かし、拡げることで安心して暮らせる社会を作りましょう」と講演を受けました。

初めての参加でしたが、もっと多くの家族会会員の積極的な参加で盛り上げていくことが必要ではと感じ、また多くのことが経験できた総会でした。

盛岡支部家族会
小林 裕子 ◇

労働者の祭典

第79回メーデー（5月1日）

各地区で積極的に参加しよう！

ていこう

私事で恐縮だが、三月中旬に二つの卒業式があった。内、一つは養護学校中学部の卒業式。特情ある学校だけに、普通校のそれのように「厳かに」とは行かない。けれども、ざわめきの中で学校長をはじめとした教職員はそれがまるでごく普通であるかのように式を粛々と挙行。長男の小学校入学式や卒業式で感じた「引け目」は何一つ感じることなかった。ハンディを背負ってきた子供たちにはなんの罪もないし、またその責を誰かに求めるべきものでもない。当たり前のことであるが、一人の人間として接することの大切さを改めて感じさせてくれた▼高等部保護者代表の謝辞に「一二年間通学したが、社会に出ることに対する不安でいっぱいである」との言葉があった。「勝ち組・負け組」や「派遣・ニート」等の言葉が当たり前になった社会。そんな社会で、基本的人権は本当に守られていると言えるのだろうか▼一〇四七名不採用問題は、国鉄「分割・民営化」という国策の中で生じた問題だけに、国がその解決に力を尽くすのは当然であるし、ILOも七度にわたる勧告を発している。けれども、この国の為政者は、そうした労働者の基本的人権はまるで無視である。法解釈のみに終始した「三・一三判決」にも、人としての権利を守ろうという姿勢は見えない▼時は四月、季節は春である。先の北上市議会議員選挙では桜が一つ咲いた。奮闘いただいた全ての組合員・家族に衷心より敬意を表する。五月には桜満開の北海道へ地本は激励交流団を派遣する。一〇四七名不採用問題の早期解決にも大きな桜を咲かせよう（要）

第3回全国組織拡大経験交流集会㊦

拡大意識を持ち活動を

＝八戸貨物分会　石戸谷　満＝

実態の報告をする仲間

三月九日・一〇日に静岡県熱海市で開かれた第三回全国組織拡大経験交流集会（貨物・自動車関係）に盛岡地本から、盛岡貨物分会の戸田智章さんと一緒に参加しました。

交流会は、久松本部執行委員の開会挨拶で始まり、田中本部副委員長が「いまや組織拡大運動は、国労にとって悩まずに取り組んでいく緊急かつ最重要の課題であるとして、全組織・組合員の中に浸透している。組織拡大はきわめて粘り強く、根気のいる課題である。問題は本日の会議をきっかけに、全体でいかにやりきる決意を固めるかにかかっている。全体で確実にやりきることによって、ひとつの流れができ、その流れを全体が激励し大きな流れに発展する。組織拡大に妙案はない。全体で、組合員全体でやりきること。職場からの地道な、継続的な運動が大切。今交流会で経験や成果、取り組みを出し合い職場に組織拡大運動を拡げていこう」と挨拶と問題提起を行いました。

続いて、組織強化拡大経験報告として、貨物の代表二人と自動車の代表一人から「地方では青年部が一人から二人という所が多い。全組合員で拡大に取り組んでほしい」「職場で若い人に声を掛けてほしい」「顔と名前を覚えてほしい」「全員で組織化拡大に動くことが団結だ」「自動車は全国何処でも職場に国労が一人か二人という所が多い」「バス分社化で大変だ」また、西日本の貨物の青年部員からは、JR西日本へ就職した同級生と粘り強く話し続け、悩みを聞く中で、国労加入へと結びつけた報告がありました。その後、五分散会に分かれ、これまでの取り組みを報告する中から、今後の組織拡大運動をどう行っていくのか議論され、終了後に全体交流を行い終わりました。

二日目は、各分散会座長からの報告と自由討論がありました。その中で、前日と同様に青年部の率直な声が多く出されました。それを受け田中本部副委員長が「国労運動を継承していくために組織拡大は不可欠である。分会運動を基本として全組合員が拡大するという意識を持ち、粘り強く取り組んで行かなければならない」とまとめ、木村東日本本部青年部長の団結ガンバローで閉会しました。

今集会への参加で、自分の職場では二〇年近く新採の配属がないという現実はありますが、他の貨物職場や今後の配属に向けて自分達で、できる形での組織拡大へ強い意識を持ち活動を続けていくことが大切だと感じました。

青森支部拡大委員会

新幹線・並行在来線問題
組織拡大に全力を尽す

三月二二日、第六四回青森支部拡大委員会が委員一一名を含む三五名が参加し開催された。JR不採用問題の解決の機運が高まっている中、青森支部として、どのようにして解決にむけ運動を展開していくか。また、東北新幹線の八戸から新青森間の開業が約二年後と迫り、様々な問題が噴出している中で、どう問題を解決していくか。新規採用者の国労加入をどのように勝ち取っていくかなど、重要な状況の中での会議となった。

冒頭、阿部委員長から情勢を含め挨拶があり、来賓の奈良岡県議、斎藤市議からは、新幹線開業に伴う問題が話され、特に、新幹線開業に伴い経営が引き継がれる青い森鉄道の財政問題で、「青い森鉄道は、財政基盤が厳しく青森県だけで、維持していくのは難しいのは明らかで、国やJR本社に財政支援の要請を行っても、門前払いの状況にある。県としてどうしていくかまだ決まっていないので、今後厳しく追及していきたい」との報告を受けた。

当面の取り組みを確認した委員会

委員からは「貨物会社は、七年連続黒字が確実な状況なのに、今年もベアゼロだ。社員・家族の要求を抑え込む会社に抗議を」「三月一五日に東派出が廃止され、色々な問題が出ている」「施設職場で、昨年以来様々な事故が起きている。会社は、原因を社員の問題にしようとしている。原因が何処にあるか皆で考えることが大切」「冬期間７５１系の車両故障が多く、４８５系に変更される。お客さんの誘導など大変だ。対策を」と意見、要望が出され、笹山書記長が集約。

最後に阿部委員長が「今年は、ぜひこの青森から新入社員の国労加入を勝ち取りたい。分会・地区協・支部が一丸となって、攻める組織拡大のための行動を起こしていこう」と訴え、団結頑張ろうで終了した。

青森支部
横内　俊博

集会・デモに393人が結集

＝08春闘勝利国労東北総決起集会＝

目標の300人を超え393人が結集した

三月七日「〇八春闘勝利国労東北総決起集会」が仙台市で、三九三人（盛岡地本八〇人）の組合員が参加し集会・デモ行進という日程で開催された。

第一部の集会（ハーネル仙台）で、主催者の橋本東北協議会議長（仙台地本委員長）は「大企業が好景気を続ける中、個人消費の伸び悩み、世界同時株安、円高による物価上昇など厳しい状況だ。貨物の仲間の生活実態を見るとき大幅賃上げが必要。今集会の力もって春闘を闘い抜く」と挨拶。続いて、社会民主党宮城県連合、日本共産党宮城県委員会、宮城県平和労組会議、東北交運労協の代表のみなさんから激励と連帯の挨拶を受けた。

その後、伊藤東日本本部委員長が「政治解決にむけ一体感を持って一〇四七名の問題に全力をあげる。春闘では東日本会社と二度の交渉を行い、定期昇給はクリア出来た感じだが、ベアの一万円要求は厳しい状況だがさらに努力する。組織の強化拡大、去年新規採用者で一人しか国労に加入できなかった。管理者と東労組の共謀による加入妨害があったからだ。会社に不当労働行為に当たるのではないか、直ちにやめるよう現場指導をと申し入れた。加入行動を地本・支部・分会がどう構築していくかが課題。職場で議論し何人加入できるのか、四月からの重要な闘いになる」と現状を報告。

引き続き、「一括和解と職場の運動について」と題し、元中労委労働者側委員の松井康彦氏の講演へ。同氏は、地区労で活動した時代、新小岩の公労協の仲間の協力のもとに全国一般を立ち上げた時以来の国労との係わりから、「国労の目指したものは、一人の労働者の問題でも労働組合として守ること。そして最後に国労が多数派組合になることを期待します」と述べた。

最後に、木村青年部長の新規採用獲得に向けた要請メッセージを披露、三地方本部及び東北貨物協の決意表明を受け集会アピールを採択、「団結頑張ろう」で閉会した。

第二部は錦町公園に移動、仙台駅までの市内をデモ行進。シュプレヒコールで市民にアピールし流れ解散で終了した。

平田さんをよろしく
＝4／27日投票・大船渡市議選＝

大船渡市議会議員選挙（定数二六）が、四月二〇日告示、二七日投票で実施される。同選挙には、社会民主党公認で平田ミイ子（五二歳）さんが立候補を予定している。同氏の当選に向け友人・知人の紹介を要請する。

〈連絡先〉
TEL〇一九二―二六―四一〇〇
FAX〇一九二―二七―八六七一

各種ローン特別金利取り扱い実施中〈東北労働金庫〉
〔お取扱い期間〕2008年4月1日（火）～2008年6月30日（月）

ろうきん教育ローン特別金利（2008年1月4日現在）
固定金利 5年 年2.20%（ご融資期間 5年以内）
固定金利 7年 年2.55%（ご融資期間 5年超7年以内）
固定金利 10年 年2.85%（ご融資期間 7年超10年以内）
変動金利 年2.025%（ご融資期間 最長15年）
●ご融資金額 最高1,000万円
●ご融資期間 固定金利型最長10年 変動金利型最長15年

ろうきんリフォームローン特別金利（2008年1月4日現在）
固定金利 5年 年2.30%（ご融資期間 5年以内）
固定金利 7年 年2.65%（ご融資期間 5年超7年以内）
固定金利 10年 年2.95%（ご融資期間 7年超10年以内）
変動金利 年2.125%（ご融資期間 最長15年）
●ご融資金額 最高1,000万円
●ご融資期間 固定金利型最長10年 変動金利型最長15年

ろうきん住宅ローン特別金利（2008年1月4日現在）
固定金利選択型
固定金利 3年 年1.10%
固定金利 5年 年1.50%
固定金利 10年 年2.10%
●ご融資金額 最高1億円
●ご融資期間 最長35年

ろうきんマイカーローン特別金利（2008年1月4日現在）
固定金利 5年 年2.30%（ご融資期間 5年以内）
固定金利 7年 年2.65%（ご融資期間 5年超7年以内）
固定金利 10年 年2.95%（ご融資期間 7年超10年以内）
変動金利 年2.125%（ご融資期間 最長10年）
●ご融資金額 最高500万円
●ご融資期間 最長10年

予約相談サービス実施中!
平日午後3時～7時まで、ご相談を承ります。
（ご予約はお近くのろうきんへ）

※審査の結果、ご融資できないなど、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※店頭に説明書をご用意しています。詳しくはお近くのろうきん窓口にお問い合わせください。
2008年4月1日現在

生活応援バンク ろうきん 東北労働金庫
0120-1919-62 http://www.tohoku-rokin.or.jp